



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

調整池周辺鳥類調査その他業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営干拓環境対策調査				
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務				
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)					
名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				11,236,000	
・直接人件費	1.000	式		11,236,000	
・・直接人件費	1.000	式		11,236,000	
・・・計画準備 (内業)	1	式	320,000	320,000	1式当たり
T00001 計画準備	1.000	業務	319,600	319,600	歩A・単A T単 1号
合 計				319,600	
・・・現地調査 鳥類調査(外業)	1	式	4,090,000	4,090,000	1式当たり
T00201 調整池調査 (鳥類調査)	3.000	回	550,800	1,652,400	歩A・単A T単 2号
T00202 中央干拓地及び小江干拓地調査 (鳥類調査)	2.000	回	183,600	367,200	歩A・単A T単 3号
T00203 生態系注目種調査(上位性) チュウヒ(鳥類調査)	2.000	回	591,600	1,183,200	歩A・単A T単 4号
T00204 生態系注目種調査(特殊性) ツル類(鳥類調査)	1.000	回	887,400	887,400	歩A・単A T単 5号
合 計				4,090,200	
・・・鳥類調査データ整理 (内業)	1	式	1,464,000	1,464,000	1式当たり
T00205 鳥類調査データ整理	1.000	業務	1,463,900	1,463,900	歩A・単A T単 6号
合 計				1,463,900	
・・・現地調査 植生調査(外業)	1	式	1,836,000	1,836,000	1式当たり
T00301 植生調査 (植物調査)	1.000	回	1,836,000	1,836,000	歩A・単A T単 7号
合 計				1,836,000	
・・・植生調査データ整理 (内業)	1	式	1,652,000	1,652,000	1式当たり
T00304 植生調査データ整理	1.000	業務	1,651,550	1,651,550	歩A・単A T単 8号
合 計				1,651,550	
・・・現地調査(移動に伴う基準日額)	1	式	804,000	804,000	1式当たり
S63007 設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,12.00人,5.00人,0.00人	1.000	式	804,100	804,100	歩A・単A S単 10号
合 計				804,100	
・・・打合せ(設計)	1	式	379,000	379,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日	2.000	回	133,500	267,000	歩A・単A S単 11号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日	1.000	回	111,900	111,900	歩A・単A S単 12号
合 計				378,900	
・・・報告書作成 (内業)	1	式	691,000	691,000	1式当たり
T00601 報告書作成	1.000	業務	691,000	691,000	歩A・単A T単 9号
合 計				691,000	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務					
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
S02111	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間)					
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間) 乗車定員5名 排気量1.5L		日	1,450		歩A・単A
	*** S単-2号 ***					
S02111	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転2時間)					
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転2時間) 乗車定員5名 排気量1.5L		日	1,650		歩A・単A
	*** S単-3号 ***					
S02111	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転3時間)					
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転3時間) 乗車定員5名 排気量1.5L		日	1,960		歩A・単A
	*** S単-4号 ***					
S02115	技師 (A)					
	技師 (A)		人	62,600		歩A・単A
	*** S単-5号 ***					
S02115	技師 (B)					
	技師 (B)		人	49,300		歩A・単A
	*** S単-6号 ***					
S02115	技師 (C)					
	技師 (C)		人	42,500		歩A・単A
	*** S単-7号 ***					
S02115	技術員					
	技術員		人	36,700		歩A・単A
	*** S単-8号 ***					
S02115	主任技師					
	主任技師		人	70,900		歩A・単A
	*** S単-9号 ***					
S02116	高速道路等料金					
	高速道路等料金 福岡～諫早(千代IC～諫早IC:往復),,		往復	7,110		歩A・単A
	*** S単-10号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,12.00人,5.00人,0.00人		式	804,100		歩A・単A
	*** S単-11号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	133,500		歩A・単A
	*** S単-12号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)					
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	111,900		歩A・単A
	*** S単-13号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)					
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,0.50日,0.50日,通勤により打合せ, ライトバン,1日,4時間		回	10,658		歩A・単A
	*** S単-14号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)					
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,0.50日,0.50日,通勤により打合せ,ライトバ ン,1日,4時間		回	10,658		歩A・単A
	*** S単-15号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成					
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,500,8cm,0		式	7,445		歩A・単A
	*** T単-1号 ***					
T00001	計画準備					
			業務	319,600		歩A・単A
	*** T単-2号 ***					
T00201	調整池調査					
	(鳥類調査)		回	550,800		歩A・単A
	*** T単-3号 ***					
T00202	中央干拓地及び小江干拓地調査					
	(鳥類調査)		回	183,600		歩A・単A
	*** T単-4号 ***					
T00203	生態系注目種調査(上位性)					
	チュウヒ(鳥類調査)		回	591,600		歩A・単A
	*** T単-5号 ***					
T00204	生態系注目種調査(特殊性)					
	ツル類(鳥類調査)		回	887,400		歩A・単A

事業名	国営干拓環境対策調査
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務

業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単- 1号 ***						
S02111	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間) 乗車定員5名 排気量1.5L			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M96301		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	乗車定員5名 排気量1.5L		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,450円		深夜時間:0.0		
M96301	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間) 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,450	1,450	
	合計				1,450	算出数量 1.000 各単位
	単価				1,450	
*** S単- 2号 ***						
S02111	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転2時間)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転2時間) 乗車定員5名 排気量1.5L			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M96302		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	乗車定員5名 排気量1.5L		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,650円		深夜時間:0.0		
M96302	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転2時間) 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
	合計				1,650	算出数量 1.000 各単位
	単価				1,650	
*** S単- 3号 ***						
S02111	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転3時間)		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転3時間) 乗車定員5名 排気量1.5L			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード	M96303		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)機械器具規格	乗車定員5名 排気量1.5L		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,960円		深夜時間:0.0		
M96303	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転3時間) 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
	合計				1,960	算出数量 1.000 各単位
	単価				1,960	
*** S単- 4号 ***						
S02115	技師 (A)		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード	R04004		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)労務単価算定区分	基(B)		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
	合計				62,600	算出数量 1.000 人
	単価				62,600	
*** S単- 5号 ***						
S02115	技師 (B)		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード	R04005		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)労務単価算定区分	基(B)		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合計				49,300	算出数量 1.000 人

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務					
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価				49,300	
	*** S単- 6号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師 (C)	1,000	人		42,500	
	合 計				42,500	算出数量 1,000 人
	単 価				42,500	
	*** S単- 7号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1,000	人		36,700	
	合 計				36,700	算出数量 1,000 人
	単 価				36,700	
	*** S単- 8号 ***					
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1,000	人		70,900	
	合 計				70,900	算出数量 1,000 人
	単 価				70,900	
	*** S単- 9号 ***					
S02116	高速道路等料金		往復		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	高速道路等料金 福岡～諫早(千代IC～諫早IC:往復),,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード (P) 3) 地区資材単価コード (J) 4) 施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P96104		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P96104	高速道路等料金 福岡～諫早(千代IC～諫早IC:往復)	1,000	往復		7,110	
	合 計				7,110	算出数量 1,000 各単位
	単 価				7,110	
	*** S単- 10号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,12.00人,5.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長的人数 3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数	0.00人 0.00人 0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務					
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	5) 技師Bの人数	12.00人				
	6) 技師Cの人数	5.00人				
	7) 技術員の人数	0.00人				
R04005	技師 (B) 外業	12.000	人	49,300	591,600	
R04006	技師 (C) 外業	5.000	人	42,500	212,500	
	合計				804,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		804,100	
	*** S単- 11号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 打合せ	着手前・最終		深夜時間: 0.0		
	3) 設計用主任技師人数	1.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	0.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
	合計				133,500	算出数量 1.000 回
	単 価		回		133,500	
	*** S単- 12号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 打合せ	中間		深夜時間: 0.0		
	3) 設計用主任技師人数	0.00人				
	4) 設計用技師(A)人数	1.00人				
	5) 設計用技師(B)人数	1.00人				
	6) 設計用技師(C)人数	0.00人				
	7) 打合せ日数	0.500日				
	8) 往復移動日数	0.500日				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	1.000	人	49,300	49,300	
	合計				111,900	算出数量 1.000 回
	単 価		回		111,900	
	*** S単- 13号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務, 着手前・最終, 0.50日, 0.50日, 通勤により打合せ, ライトバン, 1日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計工種	一般工種・解析等調査業務		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 打合せ内容	着手前・最終		深夜時間: 0.0		
	3) 主任技師配置人員	1人				
	4) 技師A配置人員	1人				
	5) 技師B配置人員	0人				
	6) 技師C配置人員	0人				
	7) 打合せ日数	0.50日				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) 宿泊区分	通勤により打合せ				
	10) 交通機関区分	ライトバン				
	11) 高速道路往復料金 (税別)	7,110円				
	12) 鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13) バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14) 船舶往復1人当料金 (税別)	0円				

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務					
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[オフロードエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	147	1,588	
	合 計				10,658	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,658	
	*** S単- 14号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務, 中間, 0.50日, 0.50日, 通勤により打合せ , ライトバン, 1日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 豪雪補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		深夜時間: 0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	ライトバン				
	11)高速道路往復料金 (税別)	7,110円				
	12)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円				
	13)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	14)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	7,110	7,110	
M28121	ライトバン[オフロードエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	10.800	L	147	1,588	
	合 計				10,658	算出数量 1.000 回
	単 価		回		10,658	
	*** S単- 15号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A-4, 500, 8cm, 0			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2)規格区分	A-4		深夜時間: 0.0		
	3)枚数区分(枚)	500				
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 500枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43543	簡易加除式ファイル A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアン) 70OMB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,445	算出数量 1.000 式
	単 価		式		7,445	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務					
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単-1号 ***					
T00001	計画準備		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
S02115	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	S単 4号
S02115	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	S単 5号
S02115	技師 (C)	2.000	人	42,500	85,000	S単 6号
S02115	技術員	2.000	人	36,700	73,400	S単 7号
	合計				319,600	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		319,600	
	*** T単-2号 ***					
T00201	調整池調査		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	(鳥類調査)					
S02115	技師 (B)	6.000	人	49,300	295,800	S単 5号
S02115	技師 (C)	6.000	人	42,500	255,000	S単 6号
	合計				550,800	算出数量 1.000 回
	単価		回		550,800	
	*** T単-3号 ***					
T00202	中央干拓地及び小江干拓地調査		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	(鳥類調査)					
S02115	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	S単 5号
S02115	技師 (C)	2.000	人	42,500	85,000	S単 6号
	合計				183,600	算出数量 1.000 回
	単価		回		183,600	
	*** T単-4号 ***					
T00203	生態系注目種調査 (上位性)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	チュウヒ (鳥類調査)					
S02115	技師 (B)	12.000	人	49,300	591,600	S単 5号
	合計				591,600	算出数量 1.000 回
	単価		回		591,600	
	*** T単-5号 ***					
T00204	生態系注目種調査 (特殊性)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	ツル類 (鳥類調査)					
S02115	技師 (B)	18.000	人	49,300	887,400	S単 5号
	合計				887,400	算出数量 1.000 回
	単価		回		887,400	
	*** T単-6号 ***					
T00205	鳥類調査データ整理		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出

事業名	国営干拓環境対策調査
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務

業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (設計)

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	技師 (A)	1.500	人	62,600	93,900	S単 4号
S02115	技師 (B)	10.000	人	49,300	493,000	S単 5号
S02115	技師 (C)	12.000	人	42,500	510,000	S単 6号
S02115	技術員	10.000	人	36,700	367,000	S単 7号
	合計				1,463,900	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		1,463,900	
	*** T単- 7号 ***					
T00301	植生調査		回		1.000	歩A 当たり算出
	(植物調査)					
S02115	技師 (B)	20.000	人	49,300	986,000	S単 5号
S02115	技師 (C)	20.000	人	42,500	850,000	S単 6号
	合計				1,836,000	算出数量 1.000 回
	単価		回		1,836,000	
	*** T単- 8号 ***					
T00304	植生調査データ整理		業務		1.000	歩A 当たり算出
S02115	技師 (A)	1.500	人	62,600	93,900	S単 4号
S02115	技師 (B)	5.500	人	49,300	271,150	S単 5号
S02115	技師 (C)	13.000	人	42,500	552,500	S単 6号
S02115	技術員	20.000	人	36,700	734,000	S単 7号
	合計				1,651,550	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		1,651,550	
	*** T単- 9号 ***					
T00601	報告書作成		業務		1.000	歩A 当たり算出
S02115	主任技師	1.000	人	70,900	70,900	S単 8号
S02115	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	S単 4号
S02115	技師 (B)	5.000	人	49,300	246,500	S単 5号
S02115	技師 (C)	3.000	人	42,500	127,500	S単 6号
S02115	技術員	5.000	人	36,700	183,500	S単 7号
	合計				691,000	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		691,000	
	*** T単- 10号 ***					
T00701	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間)		日		1.000	歩A 当たり算出
S02111	乗車定員5名 排気量1.5L 損料+燃料 ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動](運転1時間)	1.000	日	1,450	1,450	S単 1号
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.700	L	147	397	
	合計				1,847	算出数量 1.000 日
	単価		日		1,847	

事業名	国営干拓環境対策調査
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務

業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (測量)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
S02111	飛行機		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	飛行機 単発			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格	M96001 単発		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	155,710円		深夜時間:0.0		
M96001	飛行機 単発	1.000	時間	155,710	155,710	
	合計				155,710	算出数量 1.000 各単位
	単価				155,710	
	*** S単-2号 ***					
S02111	デジタル航空カメラ		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	デジタル航空カメラ 複合エリアセンサー			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格	M96002 複合エリアセンサー		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	200,000円		深夜時間:0.0		
M96002	デジタル航空カメラ 複合エリアセンサー	1.000	時間	200,000	200,000	
	合計				200,000	算出数量 1.000 各単位
	単価				200,000	
	*** S単-3号 ***					
S02115	測量主任技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04022 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04022	測量主任技師	1.000	人	61,000	61,000	
	合計				61,000	算出数量 1.000 人
	単価				61,000	
	*** S単-4号 ***					
S02115	測量技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04023 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04023	測量技師	1.000	人	52,700	52,700	
	合計				52,700	算出数量 1.000 人
	単価				52,700	
	*** S単-5号 ***					
S02115	測量技師補		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	測量技師補			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04024 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04024	測量技師補	1.000	人	41,300	41,300	
	合計				41,300	算出数量 1.000 人

事業名	国営干拓環境対策調査
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務

業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (測量)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価				41,300	
	*** S単- 6号 ***					
S02115	測量助手		人		1,000	歩A 当たり算出
	測量助手			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04025		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04025	測量助手	1,000	人	37,700	37,700	
	合 計				37,700	算出数量 1,000 人
	単 価				37,700	
	*** S単- 7号 ***					
S02115	操縦士		人		1,000	歩A 当たり算出
	操縦士			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04026		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04026	操縦士	1,000	人	62,000	62,000	
	合 計				62,000	算出数量 1,000 人
	単 価				62,000	
	*** S単- 8号 ***					
S02115	整備士		人		1,000	歩A 当たり算出
	整備士			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04027		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04027	整備士	1,000	人	44,200	44,200	
	合 計				44,200	算出数量 1,000 人
	単 価				44,200	
	*** S単- 9号 ***					
S02115	撮影士		人		1,000	歩A 当たり算出
	撮影士			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04028		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04028	撮影士	1,000	人	51,600	51,600	
	合 計				51,600	算出数量 1,000 人
	単 価				51,600	
	*** S単- 10号 ***					
S02116	航空ガンリン		L		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	航空ガンリン			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード (P) 3) 地区資材単価コード (J) 4) 施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	国営干拓環境対策調査					
業務名	調整池周辺鳥類調査その他業務					
業務別業務名: 調整池周辺鳥類調査その他業務 (測量)						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単-1号 ***					
T00001	撮影計画		km2		100.000	歩A 当たり算出
	航空写真撮影					
S02115	測量主任技師	0.200	人	61,000	12,200	S単 3号
S02115	測量技師	1.200	人	52,700	63,240	S単 4号
S02115	測量技師補	1.200	人	41,300	49,560	S単 5号
S02115	測量助手	0.500	人	37,700	18,850	S単 6号
S02115	操縦士	1.000	人	62,000	62,000	S単 7号
S02115	整備士	1.000	人	44,200	44,200	S単 8号
S02115	撮影士	1.000	人	51,600	51,600	S単 9号
Y00004	雑品	0.005		301,650	1,508	
	合計				303,158	算出数量 100.000 km2
	単価		km2		3,032	
	*** T単-2号 ***					
T00002	運航費		時間		1.000	歩A 当たり算出
	航空写真撮影					
S02111	飛行機 単発	1.000	時間	155,710	155,710	S単 1号
S02116	航空ガソリン	60.000	L	388	23,280	S単 10号
S02116	航空オイル	2.500	L	2,110	5,275	S単 11号
	合計				184,265	算出数量 1.000 時間
	単価		時間		184,265	
	*** T単-3号 ***					
T00003	滞留費		日		1.000	歩A 当たり算出
	航空写真撮影					
S02115	操縦士	1.000	人	62,000	62,000	S単 7号
S02115	整備士	1.000	人	44,200	44,200	S単 8号
S02115	撮影士	1.000	人	51,600	51,600	S単 9号
Y00004	雑品	0.015		157,800	2,367	
	合計				160,167	算出数量 1.000 日
	単価		日		160,167	
	*** T単-4号 ***					
T00004	撮影費		時間		1.000	歩A 当たり算出
	航空写真撮影					
S02111	デジタル航空カメラ 複合エリアセンサー	2.000	時間	200,000	400,000	S単 2号
	合計				400,000	算出数量 1.000 時間
	単価		時間		400,000	
	*** T単-5号 ***					
T00005	GNSS/IMU計算		枚		100.000	歩A 当たり算出
	航空写真撮影					

令和8年度
調整池周辺鳥類調査その他業務

特 別 仕 様 書

農林水産省 九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条

令和8年度 調整池周辺鳥類調査その他業務（仮称）の施行に当たっては、農林水産省農村振興局 制定「設計業務共通仕様書」によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この見積仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条

本業務は、諫早湾干拓調整池周辺地域の鳥類及び植物に関する調査を実施するものである。

(場 所)

第1-3条

調査場所は、諫早湾干拓調整池周辺地域で図-1～図-7に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第1-4条

調査実施のための土地の立入り等は、設計業務共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可なく土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

また、周辺の農地では耕作が行われているため、営農者や農耕車両の通行等に支障がないよう努めるものとする。

(業務概要)

第1-5条

本業務の概要は、次のとおりである。

- | | |
|--------|----|
| 1 鳥類調査 | 1式 |
| 2 植生調査 | 1式 |

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-6条

本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

1. 審査事項 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
2. 審査事項 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
4. 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1-7条

業務請負契約書及び設計業務共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた場合は、速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-8条

1. 管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理部門	農業-農業土木、農業-農業農村工学、農業-農村環境、建設-建設環境、環境-環境保全計画、環境-環境測定、環境-自然環境保全、環境-環境影響評価
	建設部門	建設環境
	農業部門	農業土木、農業農村工学、農村環境
	環境部門	環境保全計画、環境測定、自然環境保全、環境影響評価
博士	当該業務に関連する学術部門	
生物分類技能検定(1級)	動物部門	鳥類
	植物部門	植物
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木部門	
	建設環境部門	

2. 調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1-9条

担当技術者は、設計業務共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-10条

設計業務共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。
 なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-11条

受注者は、設計業務共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(参考資料)

第2-1条

参考資料は、次のとおりである。

分類	参考資料	数量
報告書	令和5年度 調整池周辺鳥類調査その他業務 報告書	1式
報告書	令和6年度 調整池周辺鳥類調査その他業務 報告書	1式
報告書	令和7年度 調整池周辺鳥類調査その他業務 報告書	1式
報告書	令和6年度 空撮等簡易植生調査業務 報告書	1式

(参考資料の取扱い)

第2-2条

第2-1条に示す参考資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考資料は、原則として複写転載を禁ずるとともに、その取扱いは十分注意し、他に使用や公表又は貸与してはならない。
2. 貸与資料の記載事項に、相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか、完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-3条

本業務と関連する業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた調査成果としなければならない。

番号	業務名	実施予定期間
1	令和8年度 環境調査結果とりまとめ業務 (仮称)	R8年4月～R9年3月

第3章 作業内容

(調査項目及び数量)

第3-1条

本業務における調査項目及び数量は別紙「数量表」のとおりとする。

(作業内容等)

第3-2条

本業務における作業内容等については、次のとおりとする。

1. 計画準備
業務の遂行に必要な資料の収集及び参考資料の内容を把握し、計画準備を行う。
なお、調査に使用する機器及び採集取道具等について仕様を報告すること。
2. 鳥類調査
(1) 調整池調査
諫早湾干拓調整池区域における鳥類の種類数及び個体数調査を原則として春秋冬季の年に3回(想定:5月、9月、1月とし、調査時間は日の出から日の入りまでの対象種が活発に活動する時間帯で調査項目を満たす時間)実施する。
なお、詳細な調査時期等については、別途監督職員と協議するものとする。

- 1) ポイントセンサス調査を図-2に示す区域で、ロードサイドカウント及び定位観測を併用して実施するものとし、3日間連続を原則とする。
また、ポイントセンサス調査は水鳥を対象とした調査であるため、調査結果のとりまとめは水鳥のみとするが、参考資料として確認された全ての鳥類の結果についても整理する。
 - 2) 調査で確認された鳥類については、可能な限り写真を撮影する。
 - 3) 図-2に示す区域での調査では、鳥類の利用状況を把握するため、観察された鳥類の分布箇所、確認環境、採餌・休息などの利用状況を野帳に記録する。
 - 4) これらの調査結果のうち個体数については、3日間の種別の最大個体数を代表値とするが、3日間の種別の平均値も併せて整理することとする。
- (2) 中央干拓地及び小江干拓地調査（干陸地も含む。）
- 中央干拓地及び小江干拓地において、鳥類の種類及び個体数調査を原則として繁殖期及び越冬期の年に2回（想定：6月、1月とし、調査時間は日の出から日の入りまでの対象種が活発に活動する時間帯で調査項目を満たす時間）実施する。
- なお、詳細な調査時期等については、別途監督職員と協議するものとする。
- 1) 中央干拓地及び小江干拓地において、図-3に示すルート1及びルート3の鳥類の種類及び個体数をラインセンサス法にて実施するものとし、2日間連続を原則とする。
 - 2) 調査で確認された鳥類については、可能な限り写真を撮影するとともに、観察された鳥類の分布箇所、確認環境、採餌・休息、さえずり（鳴き声）などを野帳に記録する。
 - 3) これらの調査結果のうち個体数については2日間の種別の最大個体数を代表値とするが、2日間の種別の平均値も併せて整理することとする。
- (3) 生態系注目種調査
- 諫早湾干拓調整池区域における生態系の注目種であるチュウヒ、ツル類について、調整池及びその周辺（図-4に示す調査範囲）の生息状況調査を原則3日間連続で実施する。
- 1) チュウヒ
 - ① 原則として繁殖期（4月～7月）の年に2回（想定：5月、6月とし、調査時間は日の出から日の入りまでの対象種が活発に活動する時間帯で調査項目を満たす時間）実施する。
なお、詳細な調査時期等については、別途監督職員と協議するものとする。
 - ② チュウヒの繁殖期における生息個体数、確認時の行動、飛翔経路、繁殖に関わる行動、餌の種類、営巣有無を調べ可能な限り写真を撮影する。
なお、チュウヒの繁殖が確認された場合は、速やかに監督職員に報告するものとし、巣の特定調査（巣の確認）を追加する場合がある。
 - ③ 各調査地点から望める可視範囲において、猛禽類を双眼鏡や望遠鏡を用いて観察し、確認場所、繁殖に関わる行動、出現・消失時刻を記録する。
また、形態的な特徴から可能な限り雄雌、成鳥・幼鳥を区分するとともに、羽色、翼の欠損状態からチュウヒの個体を識別して、生息個体数を調べる。
 - 2) ツル類
 - ① 原則として越冬期（11月～3月）の年に1回（想定：1月とし、調査時間は日の出から日の入りまでの対象種が活発に活動する時間帯で調査項目を満たす時間）実施する。
なお、詳細な調査時期等については、別途監督職員と協議するものとする。
 - ② 各調査地点から望める可視範囲において、越冬するツル類を双眼鏡や望遠鏡を用いて観察し、生息個体数、確認時の行動、飛翔経路、餌の種類、ねぐらの位置を調べ可能な限り写真を撮影する。
また、生息個体数を把握する際は、形態的な特徴から可能な限り成鳥・幼鳥を区分する。

なお、調査範囲内にツル類のねぐらの位置が確認された場合は、速やかに監督職員に報告するものとする。

- ③ 穀物の種子を餌とするツル類は、営農における作付けの種類により餌場と利用する場所が変わることがあるため、ツル類が利用する中央干拓地（隣接農地を含む）及び、小江干拓地、森山干拓地、吾妻干拓地の作付けの種類等の営農状況について図－４の範囲を調べるとともに、餌場と営農状況の関係（利用時間帯等）を明らかにする。

(4) 鳥類調査データ整理

鳥類調査（調整池調査、中央干拓地及び小江干拓地調査、生態系注目種調査）の結果は、過年度データと比較・整理を行い、報告書に反映するものとする。

3. 植生調査

植生の状況把握を目的として、図－５に示す潮受堤防内の植生調査を年１回（１０月までの秋季）実施する。

(1) 航空写真撮影

本航空写真撮影は、植生の分布を把握するため、コドラート調査の前までに年１回（８月～９月）行うものとする。撮影にあたっては、雲による写真判読の誤りをなくすため、晴天時を基本とする。

- 1) 撮影枚数：４８枚（４コース：図－６参照）
- 2) 撮影縮尺：１／１０，０００
- 3) 撮影区域面積：３５．５km²
- 4) 滞留費は１日を見込んでおり、天候等により変更が生じる場合は監督職員に協議するものとする。
- 5) 綿密な気象・地形調査を実施して、撮影を開始しても予測不可能な気象変化や気流状態の不良によって、植生調査用写真として不適当な場合に再撮影が必要となった場合は監督職員に協議するものとする。
- 6) 撮影作業は、撮影地の局所的な天候、地形及び撮影時刻等により極度の制約を受けることもあるため、快晴日であっても撮影地上空に雲等の撮影障害があり止むを得ず引き返しとなった場合は監督職員に協議するものとする。

(2) 植生予察図の作成

航空写真から、調整池の開放水面を除く植被範囲を令和５年度の縮尺１／５，０００の植生図に投影し、植生の種類、境界を判読して植生予察図（植生図の元図）を作成する。
なお、植生予察図は植生図作成途中段階の図であるため、現存植生図を代替りの成果品とする。

(3) コドラート調査

調査時期は、航空写真撮影以降に１回実施する。なお、詳細な調査時期等については、別途監督職員と協議するものとする。

- 1) 代表的な植物群落の群落組成を把握するため、相観及び種組成が同質とみられる群落の代表地点を選定（１００箇所程度を想定）してコドラート（５m×５mの方形区（原則））を設置し、コドラート内の出現種、被度、群度、植被率、群落高、土質及び土湿を記録する。

ただし、低木群落などの樹木が優占する箇所や畑地などの耕作面に立ち入ることが出来ない箇所については、５m×５mの方形区では群落全体の構成種を把握できないため、巻き尺あるいは測量用ポール等で距離の目安を定めて群落の種類に応じたコドラートサイズを決定し、構成種を網羅できるようにするものとする。その際、コドラート地点の位置については原則としてGPSにより座標を記録するものとする。

また、航空写真の判読では植生の境界が不明瞭な箇所については現地踏査を行い、境界を確定する。

2) コドラート調査で得られた結果を基に群落を分類し、植生区分の決定を行う。詳細は以下の点を考慮して行うものとする。

① 一年草及び多年草などの生活形や沈水植物、抽水植物などの立地条件に適応した生態特性の共通性、既存の植生分類における標徴種も加えて区分種を選定する。

② 群落は、区分種の違いによって分類し、群落の分類（群落の定義）は、群落組成表として示す。

③ 人為的な影響が強い植生区分（刈跡草地、畑地）は、人工裸地、施設構造物などに分類する。

(4) 現存植生図の作成

植生予察図に基づき、写真判読した植生の種類に、コドラート調査で決定した植生区分を当てはめ、植生境界の座標を入力し、植生区分ごとに着色した現存植生図を作成する。

現存植生図は、調査範囲を南北1,250m×東西1,750mの29ブロック（図-7参照）に分け、（図-7に示すNo.23のブロックは調整池に相当し無植生であるため割愛する）、A4サイズに縮小した縮尺1/8,000として作図する。

さらに、この植生図を全ブロックで結合させて、調査範囲をすべて含み、A4サイズに縮小した縮尺1/50,000とした図も作成する。

(5) 植生面積の算出

植生境界の座標を入力した現存植生図から、植生区分ごとの面積を測定する。なお、面積測定に使用するプログラムについては監督職員と協議するものとする。

(6) クズ侵入状況等の整理

植生調査及び令和6年度、令和7年度に実施した空撮等簡易植生調査の結果から、令和5年度からのクズの侵入、水際の洗掘に伴う植生変化状況を整理する。

(7) 植生調査データ整理

植生調査（植生予察図、コドラート調査、現存植生図、植生面積、クズ侵入状況）の結果は、過年度データと比較・整理を行い、報告書に反映するものとする。

4. 報告書作成

成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。

（作業の留意点）

第3-3条

本業務の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

1. 設計業務共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

2. 鳥類調査、植物調査及び動物調査は、必要な調査データを確実に得るため、絶滅危惧種、希少種などの特定の生物分類技術が必要であり、調査方法、分類技術、成果の検定手法等の専門的知見に基づき調査を行う。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第3-4条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1. 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を

用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2. 機器等の導入

- (1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- (2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3. 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- (1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- (2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
なお、上記（1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- (3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

なお、上記（1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

4. 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックシステム）を搭載した写真管理ソフトを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5. 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

（打合せ）

第4-1条

設計業務共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

初 回	作業着手前の段階
第2回	現地調査結果中間報告段階
最終回	報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度その内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 正副2部
2. 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条

第5-1条に記載している成果物（PDF ファイル）に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

1. 開示用成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R） 1部

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりである。

長崎県諫早市高来町金崎字浜ノ道149-6
九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 環境調整課

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

1. 第3章に示す「作業内容」に変更が生じた場合
2. 第4章に示す「打合せ」に変更が生じた場合
3. 第5章に示す「成果物」に変更が生じた場合
4. 履行期間の変更が生じた場合
5. 関係者協議等対外的協議により業務計画等に変更が生じた場合
6. その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

令和8年度 調整池周辺鳥類調査その他業務 数量表

業務数量表

調査項目		単位	数量	備考
1. 計画準備		業務	1	
2. 鳥類調査				
調整池調査		回	3	春・秋・冬季(想定5月、9月、1月)の各季に3日間連続
中央干拓地及び小江干拓地調査		回	2	繁殖期・越冬期(想定6月、1月)の各期に2日間連続
生態系注目種調査	チュウヒ (上位性)	回	2	繁殖期4月～7月中(想定5月、6月)に連続3日間
	ツル類 (特殊性)	回	1	越冬期11月～3月中(想定1月)に連続3日間
鳥類調査データ整理		業務	1	
3. 植生調査				
航空写真撮影		式	1	潮受堤防内4コース(8～9月)
植生予察図の作成		式	1	(植生図の元図)縮尺1/5,000
コドラート調査		回	1	1回(航空写真撮影以降)
現存植生図の作成		式	1	縮尺1/8,000 縮尺1/50,000
植生面積算出		式	1	
クズ侵入状況等整理		式	1	
植生調査データ整理		業務	1	
4. 報告書作成		業務	1	



凡例

□ : 調査実施場所



図-1
調査位置図

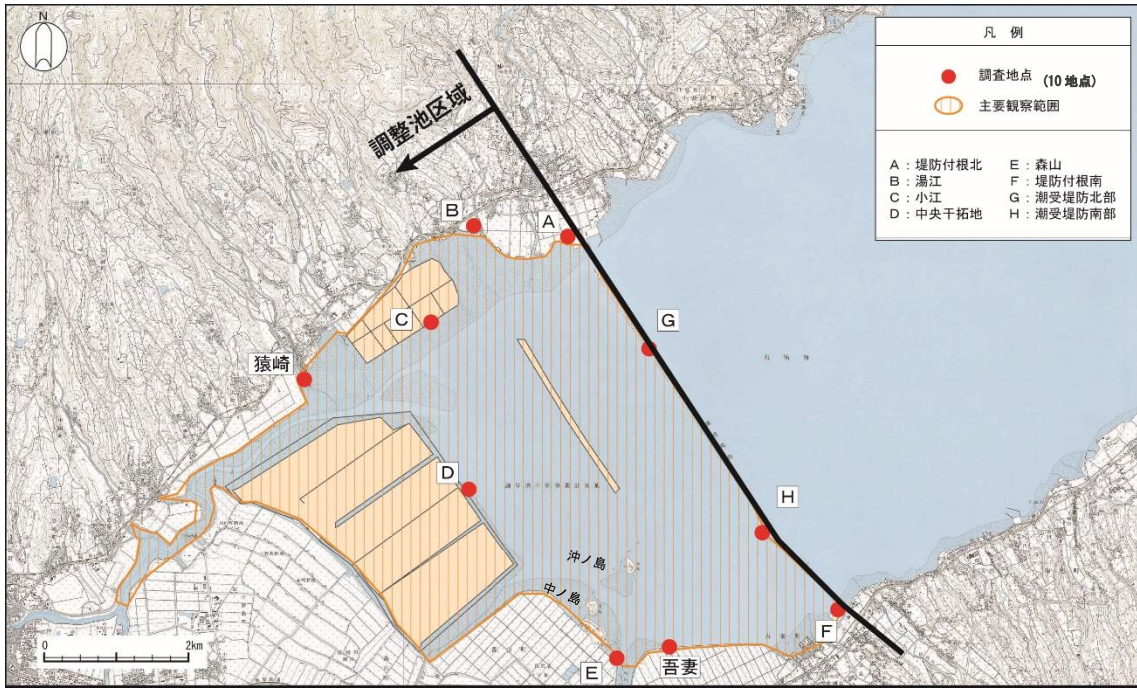
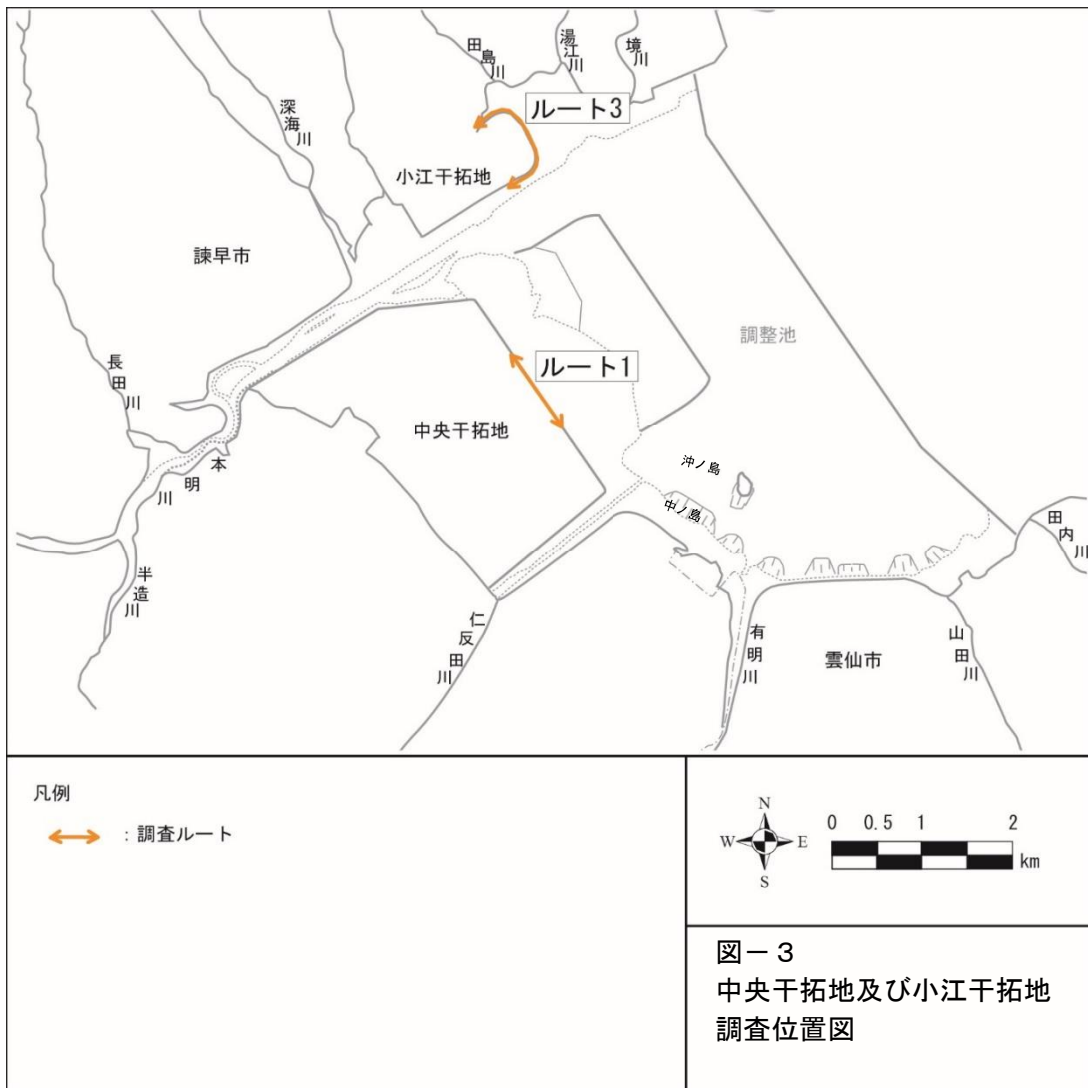
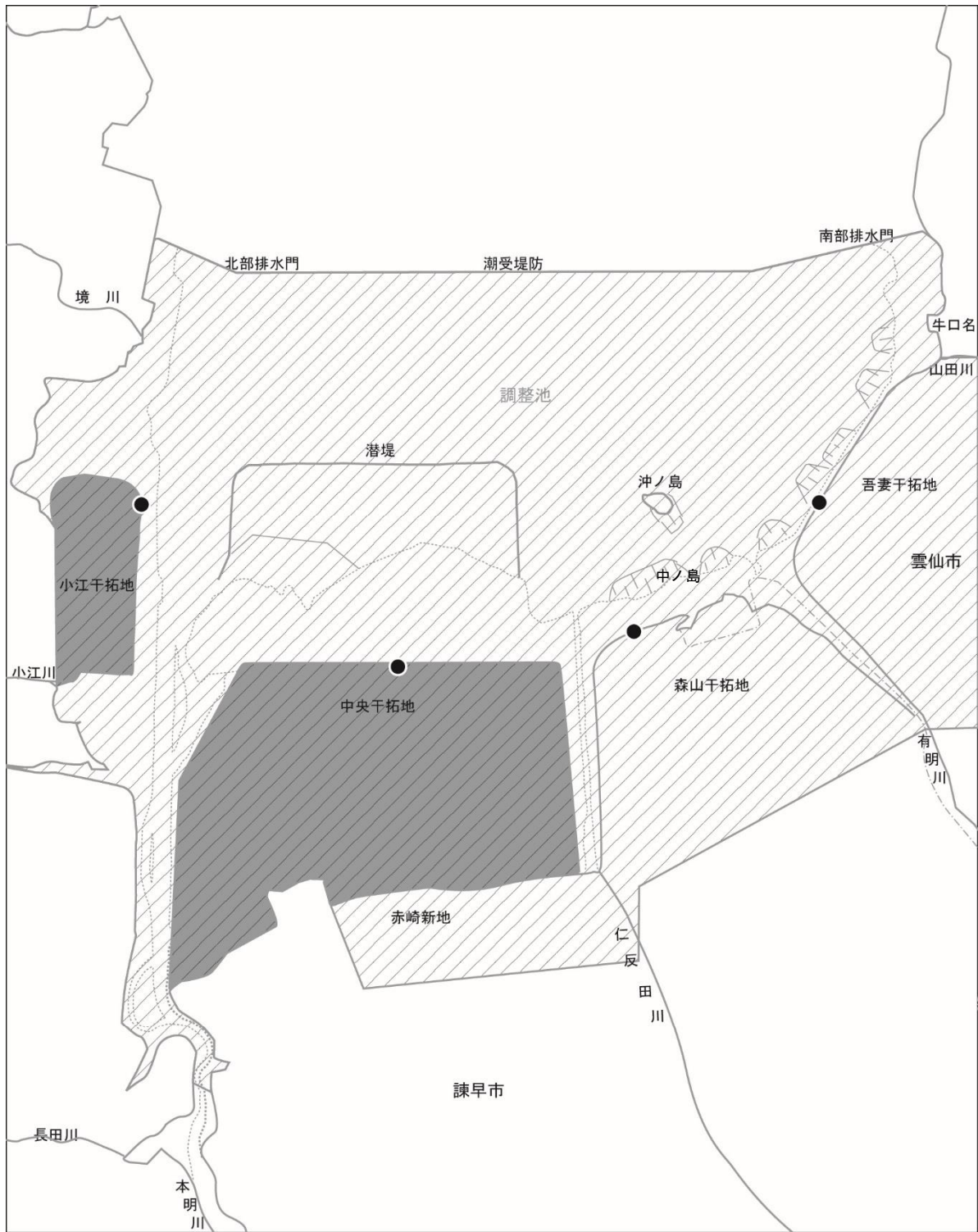


図-2 調整池調査詳細位置図





凡例




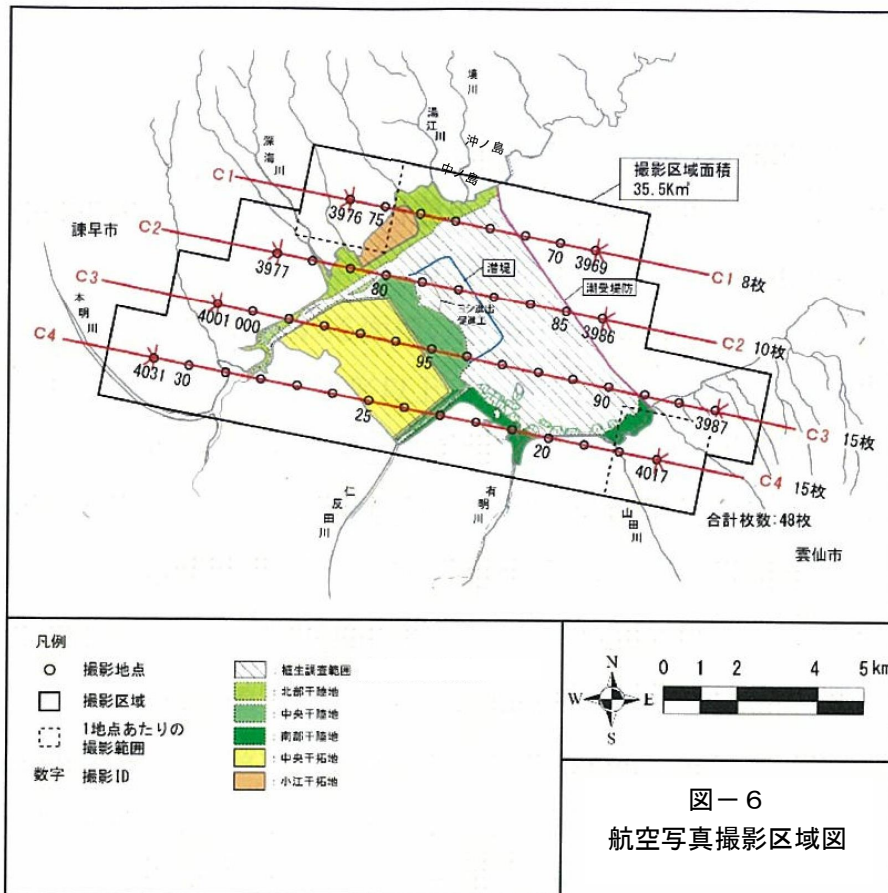
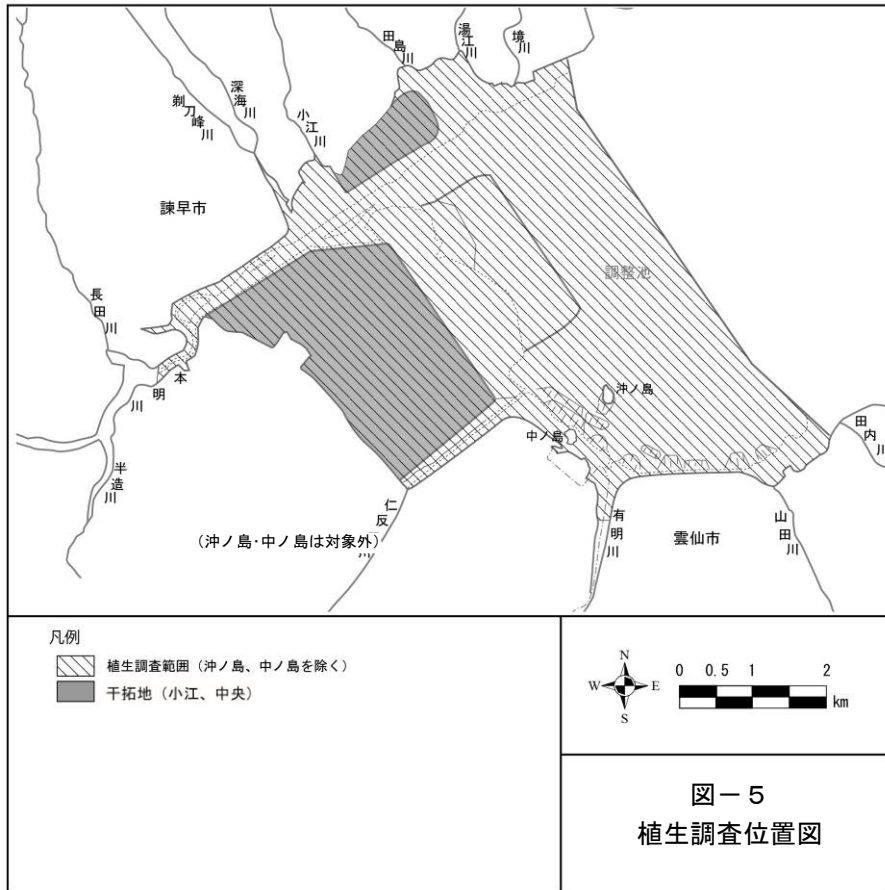
-  : 調査範囲
-  : 干拓地 (小江、中央)
-  : 主要調査地点



図-4
生態系注目種調査位置図



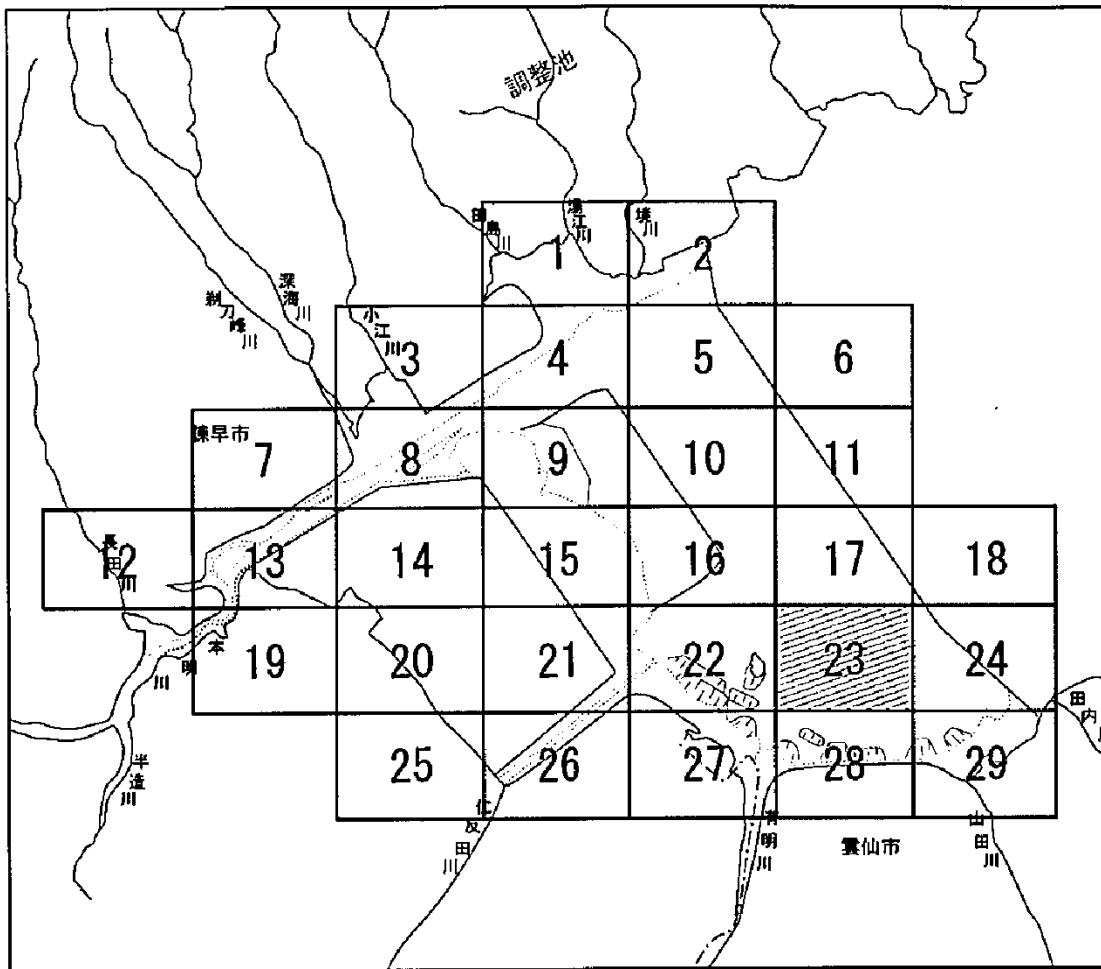


図-7 現存植生図におけるブロックの位置
 (沖ノ島・中ノ島、網掛けのNo. 23 (無植生) は対象外)